



「2年生になって」 生徒作文

2-1 河内 日湖

恐ろしい速さで、中学一年生が終わり休校期間に進級したため、全く二年生という実感がわいていませんが二年生になりました。これから部活などで一年生と交流することで段々実感がわいてくると思います。去年は分からないことばかりで、先生や先輩に頼ってなんとか私の学校生活は成り立っていましたが、さすがに後輩にそんな姿は見せられません。なので「自立」をできるように、自分で考え行動していこうと思います。またきっと一年生に分からないことだらけだと思うので、部活や委員会などで頼れる先輩を目指して頑張りたいと思います。

そして一年後には受験が待っています。進路なども自分で考えなくてはなりません。そのためにも、これからの一つ一つの間テスト、期末テストを大事にしていき、自分が入れる高校の幅を大きくしていきたいです。また二年生になってからのテストはもうすぐです。休校期間があったためテストまでの日にちが短くなってしまいましたが、諦めずに内容の濃い学習を家でも学校でもがんばっていこうと思います。今年一年何かと忙しい年になりそうですが自分が将来困らないためにもしっかりとした学力をつけ、部活でも新入生をリードできるようにがんばります。

2-1 森村 胡桃

中学校生活を長距離走に例えると、一年生はスタート、三年生はゴールだろう。では二年生はどうだろうか。スタートの勢いはそのままに、ゴールまで粘り強く走ることが役割となる。私はこの一年を「持久力」をキーワードとして過ごしていきたいと思う。

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちは自覚もないまま進級し、先輩となった。そんな中で私がこの一年頑張りたいのは、持続するということだ。何かに挑戦するときに必要なのは一歩踏み出す勇気で、上達するために必要なのが持続する力だ。去年は、挑戦する勇気を目標にした。もちろんこのことは引き続き意識するが、加えて持続することを目標にしていきたい。例えばデイリーライフの提出、ワークや問題集への取り組み方などだ。一年生で身につけたこと、ほめてもらったことを二年生でも続けていきたい。

もう一つ二年生での目標がある。それは部活動や委員会への参加だ。入学した頃は、部活動や委員会に参加するつもりはなかった。しかし参加してみたことで新しい出会いもあった。勉強は大切だし、好きだがこのような活動が学校生活を楽しく豊かにしてくれると思う。だから二年生でもこのような活動を大切にしていきたい。

私は一年生の一年間で変わったと思う。入学や進級は大きく変わるチャンスだった。今年入学した一年生には、このことを伝えていきたい。そして変わる人が一人でも多くいられると学年としてもよい方向にいけると思う。話しかけるのが苦手な人でも友達はできるし、チャンスは誰のそばにでも転がっている。応援してくださる先生方もいる。これらのことが分かっただけでも、意味のある一年だったと思う。今年は責任感をもちながら、一年生のときにできなかった実行委員もやってみたい。

